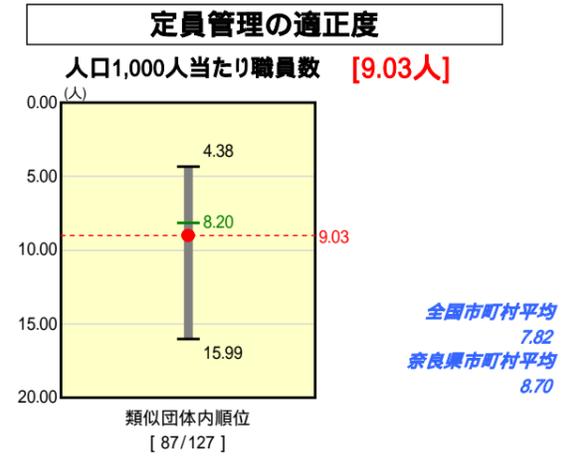
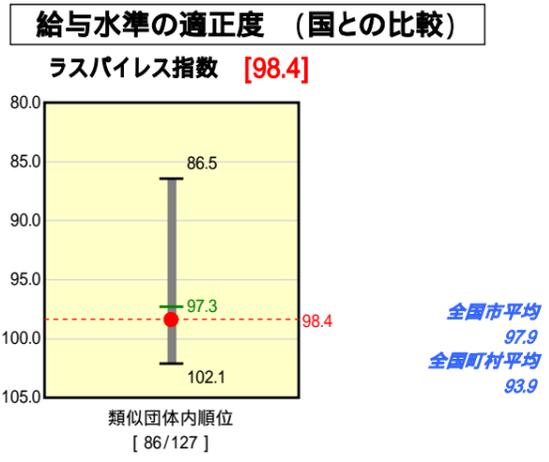
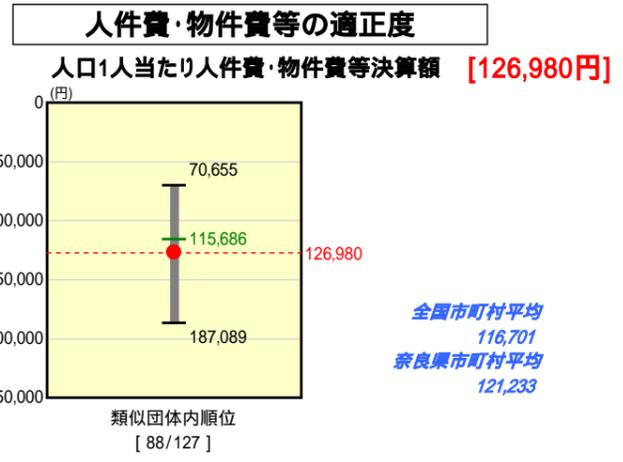
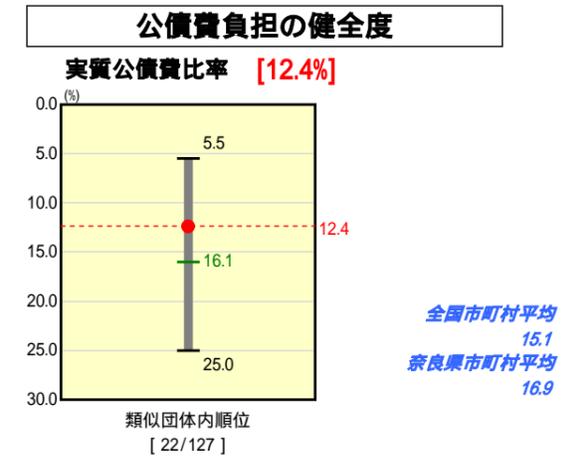
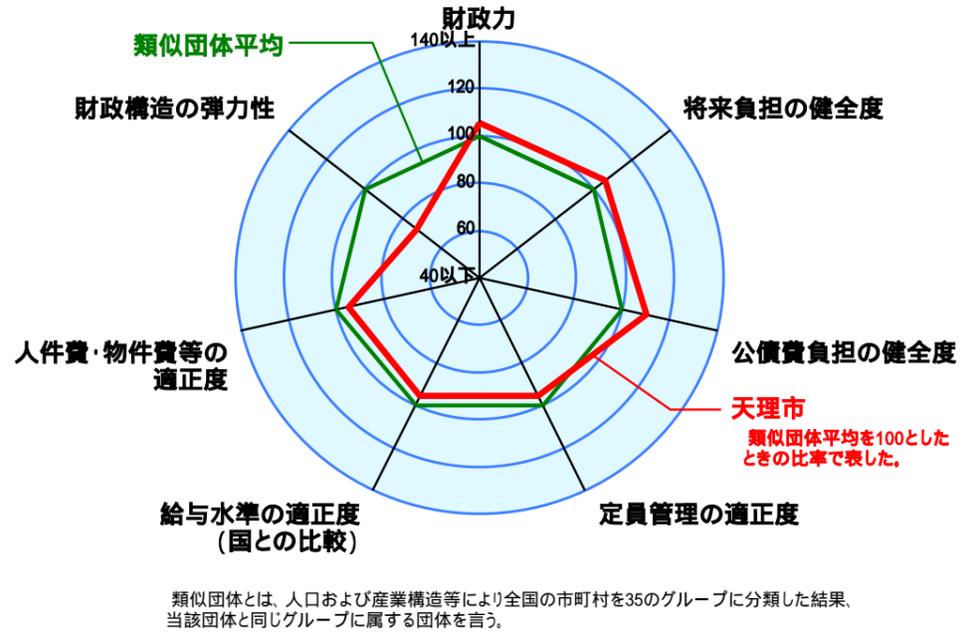
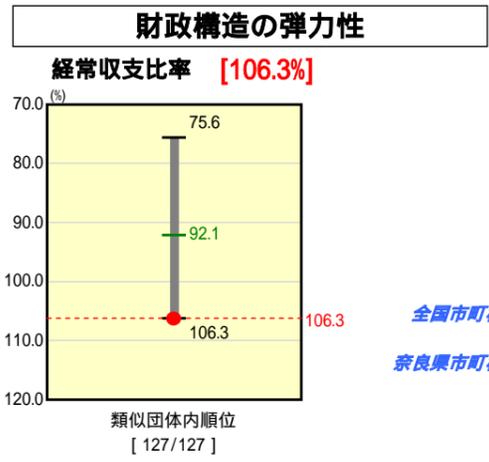
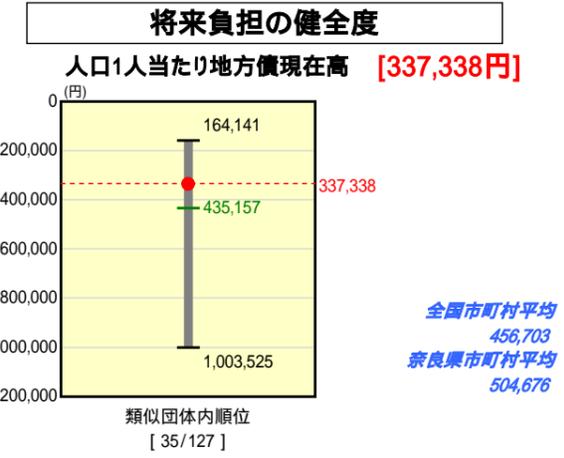
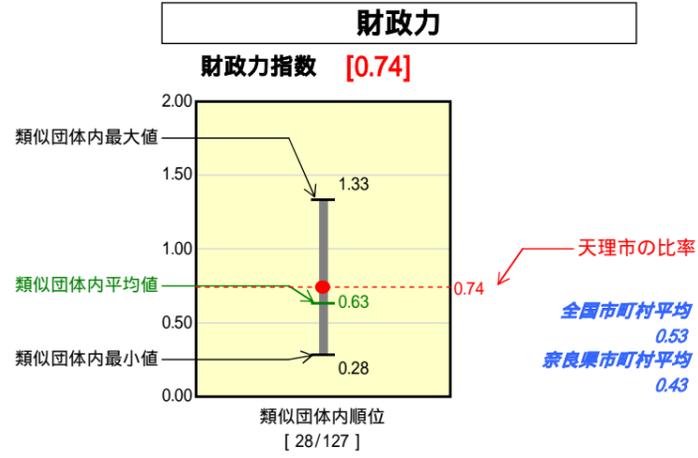


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

奈良県 天理市

人口	68,424人	(H19.3.31現在)
面積	86.37	km ²
歳入総額	25,469,240	千円
歳出総額	24,312,874	千円
実質収支	907,171	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
従来より類似団体平均を上回る数値で推移しているが、今後は市内大型法人の市内規模の縮小などにより、税収の減も予測されるため、税の徴収強化等による歳入の確保に努める。

経常収支比率
人件費及び繰出金等の影響により非常に高い比率となっている。改善に向け集中改革プランに基づき定員削減等経常経費の削減に取り組む。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
類似団体と比較して、特に施設・教育関係の職員数が多いことにより決算額が高くなっている。定員の適正化、組織の簡素化、指定管理等民間委託の推進により改善に取り組む。

人口1人当たり地方債現在高
以前より全国平均・類似団体平均より低い金額を維持している。今後も事業の厳選により健全化に努める。

実質公債費比率
全国平均・類似団体平均と比較し低い水準を維持している。今後も引き続き水準を抑制していく。

人口1,000人当たり職員数
教育・福祉施策の充実のため職員数が増えているが、近年は新規採用の抑制により減少傾向にある。今後も定員適正化計画のもと更に抑制を図っていく。

ラスバイレス指数
集中改革プランの実行により、継続して給与の適正化に取り組むとともに、今後も各種手当の見直しにより、一層の適正化に努める。